ホームページ掲載のお知らせ

平成２３年３月１２日
日本原子力発電株式会社

東北地方太平洋沖地震における東海第二発電所の原子炉自動停止について
（３月１２日１２時現在の状況）

東北地方太平洋沖地震により、定格熱出力一定運転中の東海第二発電所（沸騰水型軽水炉：定格電気出力 110 万ｷﾛﾜｯﾄ）は、タービン振動大によりタービンが停止し、原子炉が自動停止しました。

現在、冷温停止に向けた運転操作を行っております。

なお、敦賀発電所（１号機：定期検査中、２号機：定格熱出力一定運転中）は異常ありません。

現在の発電所の状況は以下のとおりです。

１．原子炉施設等の状況

・原子炉およびタービン発電機は、安全に停止しました。
・通常の給水系が使えない時に炉心を冷却する機器（原子炉隔離時冷却系および高圧炉心スプレイ系）により原子炉を安全に冷却しています。
・使用済燃料プールおよびサイトバンカープールの水が、揺れにより一時的に溢水したことを確認しました。

２．周辺環境への放射能の影響

・放射能の漏えいなどの発生はありません。
・モニタリングポストなど、環境放射線モニターの指示値の変化はなく、外部への放射能の影響はありません。
・今後も引き続き監視してまいります。

３．災害の発生の状況

・火災および人身災害の発生はありません。

４．電源系統

・現在、常用の外部電源は停止中です。

・このため、非常用ディーゼル発電機３台が正常に起動して、運転に必要な電源を確保しました。その後、津波の影響により非常用ディーゼル発電機用海水ポンプが１台停止したことから、非常用ディーゼル発電機を１台停止し、残り２台で必要な電源を確保しております。

５．津波による影響

・上記の非常用ディーゼル発電機用海水ポンプが１台停止した他には、現在のところ影響は出ておりません。

・引き続き、津波による影響について調査します。

６．対応体制

・当社は、地震発生後社長を本部長とする「東北地方太平洋沖地震対応本部」を設置し、全社一丸で対応にあたっております。

今後も、状況がわかり次第随時お知らせいたします。

以　上

問合せ先：日本原子力発電株式会社

広 報 室　荻 野・椎 名

ＴＥＬ：０３－６３７１－７３００